

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月14日		記入者		内線	2514
部 名	市民部	課 名	市民生活課		課長名	中野 清
事務事業名	自治会活動推進奨励金					
予算上の事務事業名	自治会活動推進奨励金					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	17110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます					
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				事業開始年度	
施 策 名	第1施策 個性豊かな地域づくり				平成12年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	自治会等活動推進奨励金交付要綱及び交付基準					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付) ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
「個性豊かなコミュニティづくりの推進」の一環として相模原市自治会連合会と連携する地区自治会連合会及び単位自治会の円滑化、並びに同会相互の連絡・調整、意見の集約等、地域活動の推進を支援するため。					相模原市自治会連合会	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<p>基準日 平成16年4月1日</p> <p>交付額の算出 交付額 = 400円 × 世帯数</p> <p>(世帯数とは、基準日現在、相模原市自治会連合会に加盟し、かつ地区自治会連合会を構成する自治会に加入している世帯)</p> <p>平成16年度決算(見込) 400円 × 世帯数(159,478世帯) = 63,791,200円 を平成16年6月に相模原市自治会連合会に対し交付。</p>						
6 関連・類似事業や他市の状況	平成15年度に中核市及び県内各市を対象に調査を行っている。本市の1世帯あたりの交付額は平均的な額である。					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	73,686	73,833	63,792	64,400	64,400	
一般財源	73,686	73,833	63,792	64,400	64,400	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	0	0	0	
事業コスト合計(a)	73,686	73,833	63,792	64,400	64,400	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	自治会活動推進奨励金			対象名称(単位)	世帯数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	73,686	73,833	63,792	64,400	64,400	
対象数	159,017	159,443	159,478	161,000	161,000	
単位あたり経費(円)	463	463	400	400	400	
前年度比		1.00	0.86	1.00	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	自治会加入世帯数		指標式と指標の説明	自治会加入世帯数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	159,017.0	159,399.0	159,478.0			
目標	160,000.0	161,000.0	161,000.0	161,000.0	161,000.0	
目標達成度	0.99	0.99	0.99			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	自治会加入率（目標：世帯数 実績：自治会加入世帯数）		指標式と指標の説明	地域まちづくりを推進していく上で、自治会の活性化が重要であり、市内全世帯の加入が望ましいもの。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	159017.0	159399.0	159478.0			
目標	243682.0	248383.0	252039.0	255476.0	259500.0	
目標達成度	65.3	64.2	63.3			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		平成16年度より、交付要綱・基準を見直したところであり、現状維持と考えている。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
平成15年度に積算方法の見直しを行い、平成16年度より実施している。自治会活動である 環境美化 防災 防犯・交通 文化・福祉に対して、一世帯あたりの年間金額を算出し、自治会の規模による交付金額の差を無くし、より充実させた。			個性豊かなコミュニティづくりの推進をより図るために大きく貢献している。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				